

2026 年 10 月 26 日

朝日新聞社
〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

〈報道関係のみなさま〉

体験格差を考える新連載、10 月 26 日開始 古坂大魔王さんが「きっかけアンバサダー」に

連載「きっかけをつなぐストーリー」で、子どもの「きっかけ」が生まれる場と大人の関わり方を考える

第 1 回は武蔵野大学教授の前野隆司さん、サントリーホールディングスの一木典子さんとの 3 者対談

株式会社朝日新聞社（代表取締役社長：角田克）などが構成するウェルビーイングアクション実行委員会は、10 月 26 日（月）、朝日新聞社が運営するウェルビーイングサイト「Well-Being Action!」で連載企画「きっかけをつなぐストーリー」を始め、古坂大魔王さんが連載の「きっかけアンバサダー」に就任しました。経済状況や家庭環境などによって、子どもたちが体験に出会う機会に差が生まれている「体験格差」に向き合い、子どもにとっての「きっかけ」がどう生まれ、育っていくのかを考えます。共催はサントリーホールディングス株式会社です。

第 1 回として、10 月 26 日に、古坂さん、武蔵野大学教授の前野隆司さん、サントリーホールディングスの一木典子さんによる 3 者対談の前編・後編を公開しました。10 月 31 日（土）には、古坂さんの単独インタビューを公開します。今後も随時掲載予定です。

■連載「きっかけをつなぐストーリー」第 1 回記事ページ：

（前編）https://www.asahi.com/ads/wellbeing_action/kikkake/202610_01

（後編）https://www.asahi.com/ads/wellbeing_action/kikkake/202610_02

■Well-Being Action!：https://www.asahi.com/ads/wellbeing_action/

お問い合わせ

朝日新聞社 プランニング本部
E-mail wellbeing@asahi.com

2026 年 10 月 26 日

朝日新聞社
〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社



□連載のねらい

経済状況や家庭環境などによって、子どもたちが学校の外でさまざまな経験をする機会には差があります。いわゆる「体験格差」です。こうした機会を広げるとともに、体験が子どもの心を動かし、人生の「きっかけ」へと育っていくことも大切にしたいと考えています。そのためには、安心できる場や見守る大人の存在、そして時間が欠かせないのかもしれないかもしれません。

連載「きっかけをつなぐストーリー」では、きっかけアンバサダーの古坂大魔王さんと研究者や企業の方々との対話を通じて、子どもにとっての「きっかけ」とは何か、それはどう生まれ、育っていくのかを探っていきます。

□第 1 回の内容

◇3 者対談 前編（10 月 26 日公開）

『「きっかけ」は、安心の上に成り立つ』

古坂大魔王さん・武蔵野大学教授の前野隆司さん・サントリーの一木典子さんが語る、きっかけが生まれる場のつくりかた

幸福学の知見と、体験の機会を届ける現場の実感、古坂さん自身の経験を往復しながら、ウェルビーイングを子どもや現場の側から捉え直します。きっかけが生まれる土台として、安心できる場の大切さを語り合いました。

◇3 者対談 後編（10 月 26 日公開）

「地域にいた大人は、いま企業の中にいる」

かつて地域で子どもを見守っていた大人は、いま企業の中にもいる——。企業が子どもたちに体験の機会をひらく意義や、関わる大人自身が子どもから受け取るものについて語り合いました。

お問い合わせ

朝日新聞社 プランニング本部
E-mail wellbeing@asahi.com

2026 年 10 月 26 日

朝日新聞社
〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

◇古坂大魔王さん 単独インタビュー（10 月 31 日公開）

『面白そう』を、きっかけにしたい」——古坂大魔王さんが「きっかけアンバサダー」を引き受けた理由

きっかけアンバサダーを引き受けた理由や、きっかけはあとから意味づけられるものだという考え、子どもと関わる大人が受け取るものについて聞きました。

●登場者（敬称略）

古坂 大魔王（こさか・だいまおう）きっかけアンバサダー

1992 年お笑い芸人「底ぬけ AIR-LINE」でデビュー。ピコ太郎プロデューサー。文部科学省・CCC 大使、UNEP サステナビリティアクションアドバイザー、クラシック音楽アンバサダーを務めるほか、テレビ出演やトークセッションなど、多方面で活動している。また、出張型キャリア教育プログラム『avex class』で講師を務めるなど、次世代に向けた活動にも注力している。

前野 隆司（まえの・たかし）

武蔵野大学ウェルビーイング学部教授。博士（工学）。キャノン勤務、慶應義塾大学教授などを経て、2024 年より現職。幸福学の研究に取り組み、『幸せのメカニズム—実践・幸福学入門』など著書多数。

一木 典子（いちぎ・のりこ）

サントリーホールディングス株式会社 CSR 推進部長。2022 年にサントリーホールディングス入社。2023 年に次世代エンパワメント活動「君は未知数」を立ち上げ、NPO と協働して子ども・若者の支援に取り組んでいる。

□共催のご紹介

サントリーホールディングス株式会社

次世代エンパワメント活動「君は未知数」を通じて、子どもたちが「未知」や「他者」と出会う機会づくりを進めています。その一つとして、認定 NPO 法人フローレンスと共同で、企業などが提供する体験と、体験に出会いにくい家庭をつなぐプラットフォーム「こども冒険バンク」を運営しています。

「君は未知数」公式サイト：https://www.suntory.co.jp/company/csr/kimi_wa_michisu/

お問い合わせ

朝日新聞社 プランニング本部
E-mail wellbeing@asahi.com

2026 年 10 月 26 日

朝日新聞社
〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

□多様化する幸福の価値観やウェルビーイングな取り組みを紹介

https://www.asahi.com/ads/wellbeing_action/

朝日新聞社が運営するウェルビーイングサイト「Well-Being Action!」では、多様化する幸福の価値観やウェルビーイングな取り組みを随時紹介しています。ともに考えることで、みなさまが行動する一助になれば幸いです。

□本件に関するお問い合わせ

朝日新聞社 プランニング本部 担当：石川 拓磨

E-mail：wellbeing@asahi.com

お問い合わせ

朝日新聞社 プランニング本部
E-mail wellbeing@asahi.com